

ねんせい しょうがっこうていがくねん  
**1・2年生(小学校低学年)**



やま 山のちようじょうの木のとっぺん

もがみいっぺい・さく  
 ありたなお・え  
 しんにほんしゅつぱんしゃ  
 新日本出版社

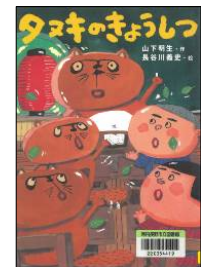
好奇心いっぱいのいがらしくんは優しくおとなしいにしやんは、幼なじみ。最近、にしやんは飼っている犬のごんすけが死にそうで元気がありません。いがらしくんは心配で、毎日、ごんすけのようすを見に行きます。そこで、ごんすけが子犬の時すごしてきたふるさとのことを聞き、二人はごんすけの死を見つめることに。



おれ、よびだしになる

なかがわひろたか・さく  
 いしかわえりこ・え  
 アリス館

ちいさいころからぼくはすもうがすきだった。テレビでみるすもうのいちばんのおきにいりは「よびだし」さん。5さいのぼくはきゆうしゅうばしよをみにいって、すもうべやをけんがくして、じぶんも「よびだし」になるときめたんだ。ちゅうがくをそつぎょうしたぼくはすもうべやでおすもうさんといっしょにせいかつをして、よびだしのしゅぎょうをつんで…。



タヌキのきょうしつ

やましたはるお・さく  
 はせがわよしふみ・え  
 あかね書房

ひろしま県ではじめての小学校はのぼり町にできました。そこできょういくをうけたのは人間だけではなく、なんと、タヌキもだったのです。明治、大正、昭和と時代が移り変わってもそれは変わらず、戦争が起こってもタヌキは人間と同じように行進の練習をします。原爆が落ちて、みんないなくなったけれど、またいつか、生活がもどってきました。さて、タヌキはどうだったのでしょうか？



ながーい5ふん みじかい5ふん

リズ・ガートン・スキャンロン ぶん  
 オードリー・ヴァーニック ぶん  
 オリヴィエ・タレック え  
 きさかりょう・やく 光村教育図書

あさ、めがさめたときの5ふんとでかけるまえの5ふん、じゅんばんまちをしているときの5ふんとおもしろそうなどうぶつをみるせいげんじかんの5ふん。みんなおなじ5ふんかな？ながくかんじたり、みじかくかんじたり、5ふんっていろいろあるんだよね。みんなはどんな5ふんがすきですか？どんな5ふんがいいなっておもえるでしょう。

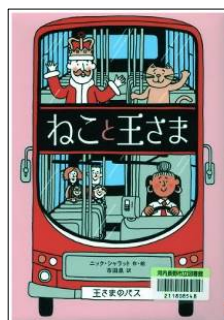
ねんせい しょうがっこうちゅうねん  
**3・4年生(小学校中学年)**



あお 青いあいつがやってきた!?

まつい さく 松井ラフ 作  
 おおの やよい え 大野八生・絵  
 ぶんけんしゅつぱん 文研出版

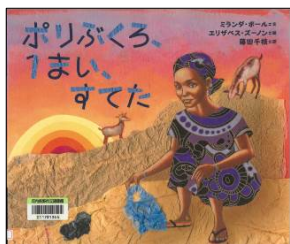
4年生のサシは転校したばかり。まだ、学校や町になじめず不安な日々を送っていた。ある日、夜空をながめていたら流れ星が！その翌朝、全身青いカッパが突然あらわれ、1日一緒にすごすことに。青いカッパのすみかを探すうち、サシはいつのまにか自信をとりもどしていくことに。はたして、流れ星に願ったことは？



ねこと王さま

ニック・シャラット 作・絵  
 いちだ いずみ やく 市田 泉・訳  
 とくましよてん 徳間書店

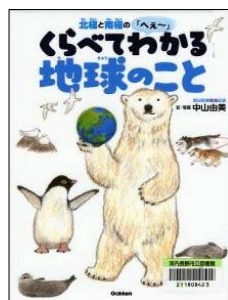
王さまはりっぱなおしろにすんでいました。いちばんのともだちはねこでした。ねこは十二人のめしつかいにしてほしいことをふせんに書いてつたえていて、とてもうまいっていました。ところが「うんのわいできごと」がおこって、王さまとねこは「おしろ横丁三十七番地」の家へひっこしました。二人きりの生活は、さてうまいくのでしょうか…？



ポリぶくろ、  
 1まい、すてた

ミランダ・ポール 文  
 エリザベス・ズノー 絵  
 ふじた ちえ やく 藤田千枝・訳

アフリカのガンビアというくにをしていますか？そこにすんでいるアイサトは子どもの時にプラスチックバッグ(ポリぶくろ)を捨てました。みんながすてたポリぶくろはしぜんにかえらず、道を汚し、虫がわき、それを食べたヤギは消化できずに死んでしまいます。アイサトはそのポリぶくろをあらって、あんで、ともだちにも協力してもらい…。リサイクルのとくみをえがいています。



北極と南極の「へえ〜」

くらべてわかる地球のこと  
 なかやま ゆみ ぶん 中山由美 文・写真  
 あきくさあい え 秋草愛・絵  
 がっけん 学研プラス

北極と南極は行こうと思っても、気軽に旅行できない場所です。この本を書いた人は新聞記者として、南極に行くことになりました。その後、自分で北極のグリーンランドにも行って、行かないとわかんない北極や南極のことをたくさん知ります。北極と南極ではどっちが寒い？どっちが氷が多い？などの疑問に答えます。

ねんせい しょうがっこうこうがくねん  
5・6年生(小学校高学年)



ヒロシマ  
消えたかぞく  
指田和・著  
鈴木六郎・写真  
ポプラ社

鈴木六郎さん一家はお父さんが六郎さん、お母さんがフジエさん、そして英昭、公子、護、昭子の4人の子どもたちとネコのクロとイヌのニイで暮らしていました。いとこたちとあそんだり、おだやかな日常を過ごしていました。1945年8月6日8時15分に原爆が落とされるまでは…。残された写真と英文併記で描く、平和への願いを伝える作品です。



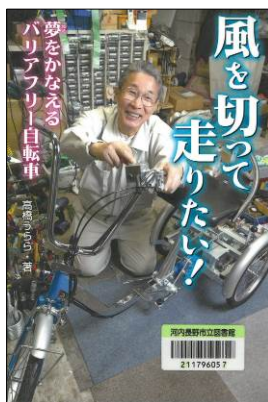
と 飛ぶための百歩  
ジュゼッペ・フェスタ 作  
すぎもと やく  
杉本あり・訳  
まめふく・イラスト  
いわなみしよてん  
岩波書店

アルプス山脈の一部を形成するイタリアのドロミテ渓谷にやってきたルーチョとベア。二人は叔母甥で、中学校を出たばかりの14歳のルーチョは5歳のころに視力を失っている。それでも自分でしっかりと生活できるとあまり人を頼らないルーチョをベアは心配している。山小屋で同い年の少女キアラと出会い、山岳ガイドのティツィアーノも交えた4人で「悪魔の頂」を見に行くことになる。そこでミストラルとレヴァンテと呼ばれる鷲のつがいのヒナが密猟者にとられそうになり…。



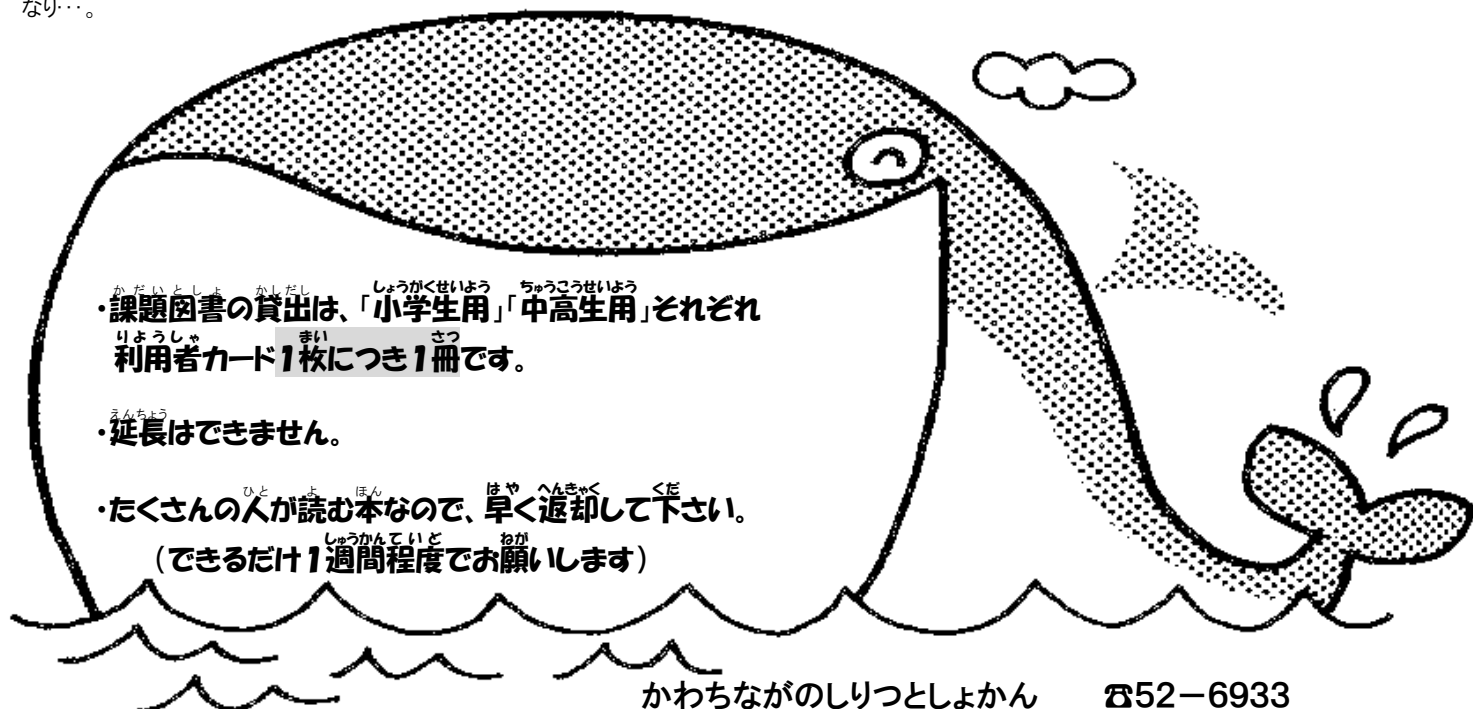
月(るな)と珊瑚  
上條さなえ・著  
講談社

珊瑚は沖縄の新都心小学校に通っています。6年生なのに名前が漢字で書けないことをクラスメイトの詩音に馬鹿にされます。仲良しのくるみは「きにすることない」と言ってくれたけれど…。東京から月が転校してきたことも影響して、戦闘機の音をはじめて怖く感じたりします。沖縄では6月にある「平和月間」にも触れながら少女たちを描きます。



風を切って走りた!  
夢をかなえる  
バリアフリー自転車  
高橋うらら・著  
金の星社

堀田健一さんは東京の足立区にある堀田製作所体が不自由な人向けの自転車を作り続けています。これまで作ったバリアフリー自転車は2600台におよび、シチズン・オブ・ザ・イヤーや吉川英治文化賞などを受賞しています。しかしながら自転車製作にかかる苦労は普通の人には想像もつかないものだったので。



- ・課題図書の出借は、「小学生用」「中高生用」それぞれ利用者カード1枚につき1冊です。
- ・延長はできません。
- ・たくさんの方が読む本なので、早く返却して下さい。(できるだけ1週間程度でお願いします)

かわちながのしりつとしょかん ☎52-6933

河内長野市立図書館 Supported by TONE